

資料－4－③

平成22年度第2回

沖縄総合事務局

開発建設部

事業評価監視委員会

事業評価監視委員会審議資料

再評価事業の説明資料

○一般国道331号豊見城道路
一般国道331号糸満道路

沖縄総合事務局開発建設部

事業評価監視委員会審議資料 道路事業の説明資料（再評価）

一般国道331号 豊見城道路
一般国道331号 糸満道路

平成22年11月25日
沖縄総合事務局 南部国道事務所

目 次

1. 豊見城道路・糸満道路の事業概要 2

2. 事業の必要性 4

(1)社会状況の変化 4

(2)道路交通状況の変化 7

(3)地域の要望・活動 8

3. 事業の投資効果 9

(1)円滑なモビリティの確保 9

(2)物流効率化の支援 11

(3)個性ある地域の形成 12

(4)安全で安心できる暮らしの確保 13

(5)暫定供用の効果 14

(6)地球環境の保全 15

(7)費用便益分析 16

4. 事業の進捗状況と見込み 18

5. 対応方針 19

1. 事業概要

- ◆沖縄西海岸道路は、国道58号、331号などの交通混雑緩和と、那覇空港自動車道、那覇空港、那覇港と西海岸地域の各拠点を連結し、地域の活性化、地域振興プロジェクトに寄与する広域幹線道路で、読谷村から糸満市に至る約50kmの地域高規格道路です(図1)。
 - ◆また沖縄西海岸道路は、渋滞の緩和、交通事故抑制、観光支援並びに物流の効率化等を目的に策定されたハシゴ道路計画にも位置づけられています。
 - ◆豊見城道路・糸満道路は、沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道331号の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上に資するとともに、那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された、2環状7放射道路として、県南部地域の活性化や物流効率化、さらには観光交流の支援を目的とした道路で豊見城市瀬長から糸満市真栄里に至る延長7.4kmの地域高規格道路です(図2)。

【沖繩西海岸道路】

- * 沖縄西海岸道路は、読谷村から糸満市に至る約50kmの道路であり、那覇空港、那覇港といった広域拠点を相互に連絡する



図1 沖縄西海岸道路イメージ

【2環状7放射道路】

* 外郭環状道路として、都市部の交通混雑緩和に寄与

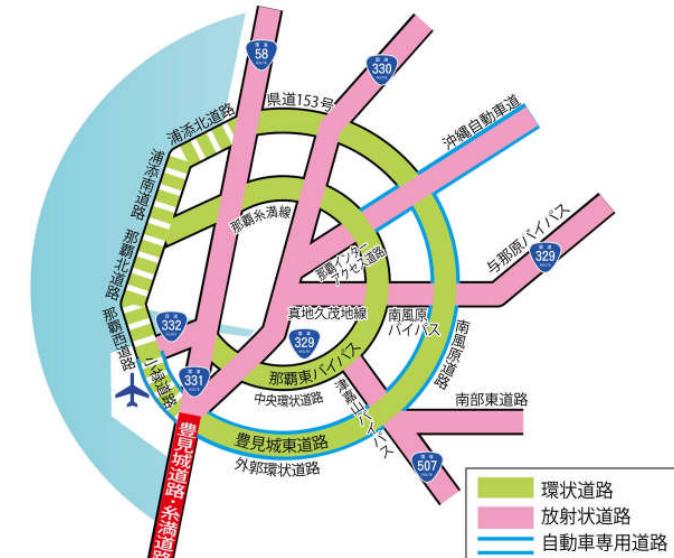


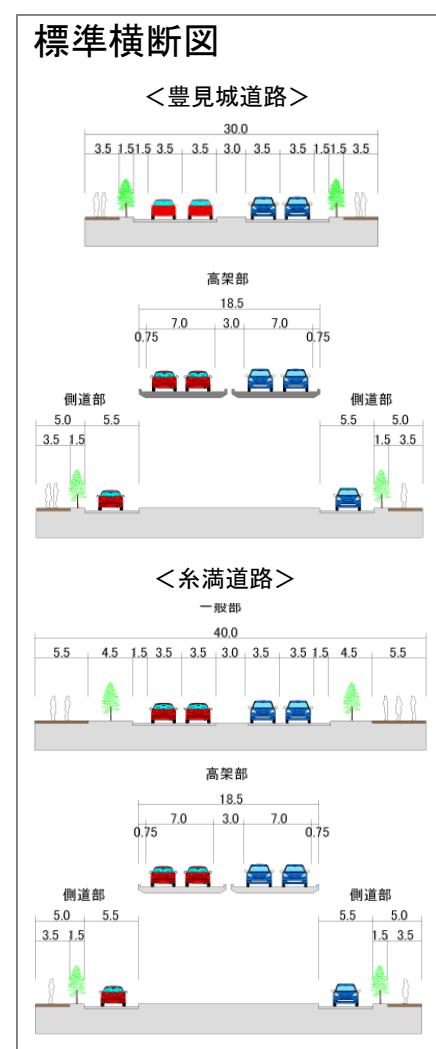
図2 2環状7放射道路イメージ

1. 事業概要

- ◆豊見城道路は平成元年度に事業化され、平成18年度に全線暫定供用されている。
- ◆糸満道路は平成2年度に事業化され、平成14年度に部分供用(0.8km)されている。

	豊見城道路	糸満道路
事業区間	自) 豊見城市瀬長 至) 糸満市西崎	自) 豊見城市西崎 至) 糸満市真栄里
延長	4.0 km	3.4 km
道路規格	第4種第1級	第4種第1級
設計速度	60 km/h	60 km/h
車線数	4車線	4車線
交通量	369百台/日 (平成42年推計値) 49百台/日(平成17年実測値) 278百台/日(平成22年実測値)	174百台/日 (平成42年推計値) 28百台/日(平成17年実測値) —
事業費	約405億円	約505億円

年次	豊見城道路	糸満道路
平成元年度	事業化	—
平成2年度	—	事業化
平成6年度	地域高規格道路の指定(沖縄西海岸道路)	
平成10年度	都市計画決定、用地着手	
平成12年度	—	工事着手
平成13年度	工事着手	—
平成14年度	—	部分供用(L=0.8km)
平成15年度	一部暫定供用(L=1.1km)	—
平成17年度	部分暫定供用(L=2.3km)	—
平成18年度	部分暫定供用(L=0.6km) ※全線暫定供用	—



2. 事業の必要性

(1)社会状況の変化[人口等]

- ◆豊見城市をはじめ本島南部に位置する自治体の人口、自動車保有台数、新設住宅着工の伸びが大きい。
- ◆都市の成長力ランキングで全国787市中、豊見城市1位、糸満市23位と非常に高い成長力。



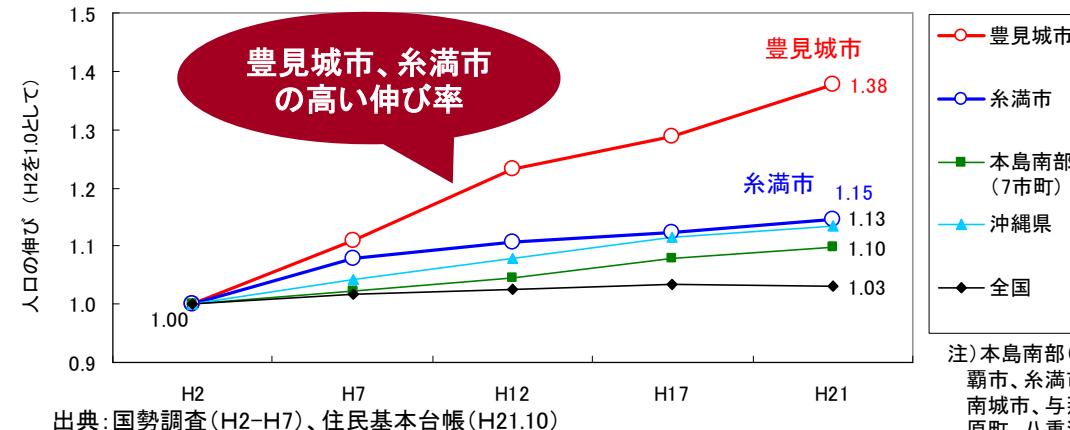
■全国787市の成長力ランキング(2010年版)

市(都道府県)	総合指数
豊見城市(沖縄)	1位
常滑市(愛知)	2位
印西市(千葉)	3位
東広島市(広島)	4位
弥富市(愛知)	5位

糸満市(沖縄)	23位

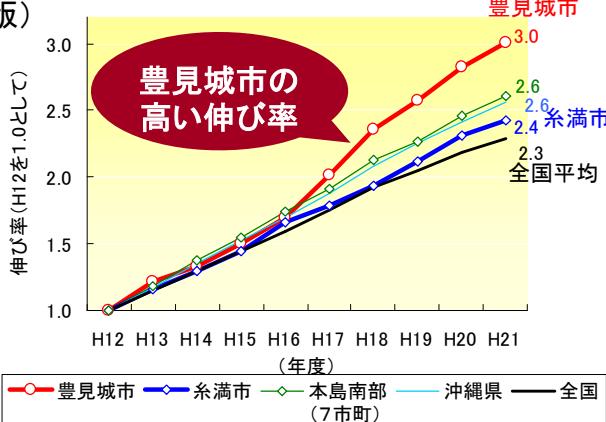
出典:都市データパック2010年版(東洋経済新報社)

■人口の伸び率

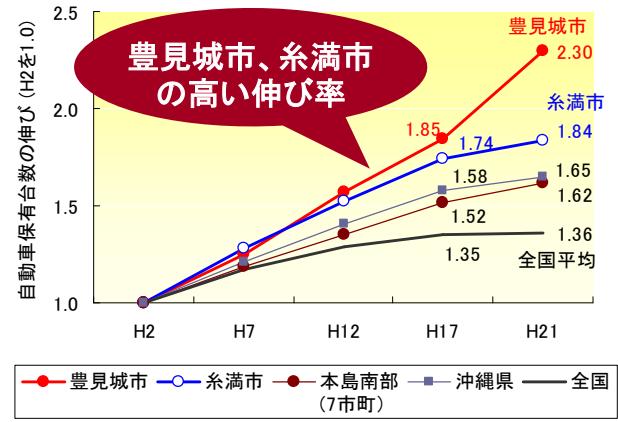


注)本島南部(7市町):那
霸市、糸満市、豊見城市、
南城市、与那原町、南風
原町、八重瀬町

■新設住宅着工件数(累積)の伸び率



■自動車保有台数の伸び率



2. 事業の必要性

(1) 社会状況の変化[開発事業]

◆豊見城道路・糸満道路沿道には、豊崎タウン、潮崎タウンをはじめ、アウトレットモールあしひなー等の商業施設、道の駅、新しいビーチ等の立地、開業が進んでいる。

■豊崎タウン



豊崎タウン
(計画人口約7000人)



道の駅豊崎(H20.12開業)



アウトレットモールあしひなー
(約70店舗、H14.12開業)



美々ビーチ(H18.4オープン)



道の駅いとまん(H21.9開業)



潮崎タウン(計画人口約4000人)

西崎工業団地は、残っていた1区画も豊見城道路の暫定供用後、昨年度売却し、完売になりました。



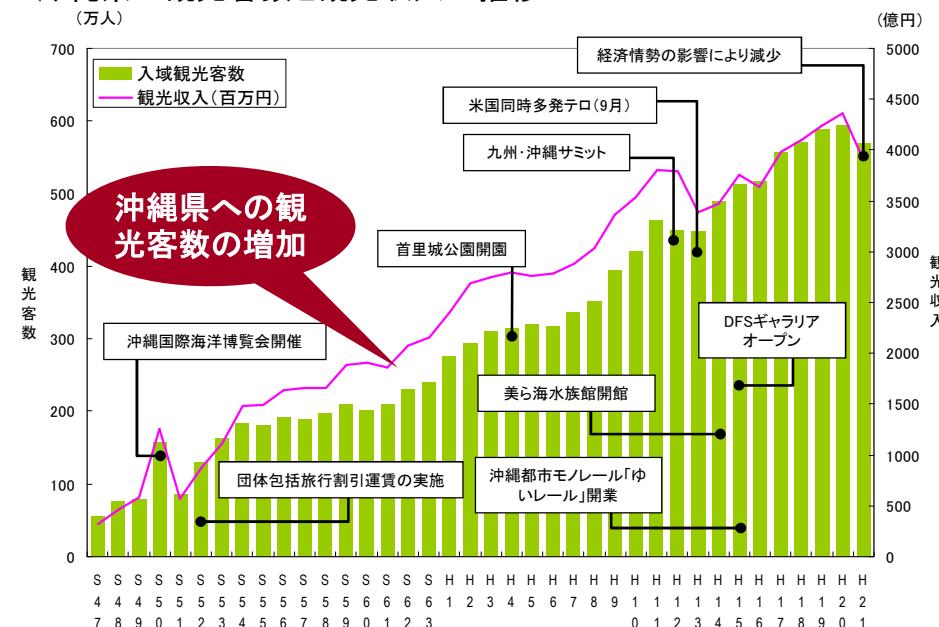
糸満市役所都市計画課

2. 事業の必要性

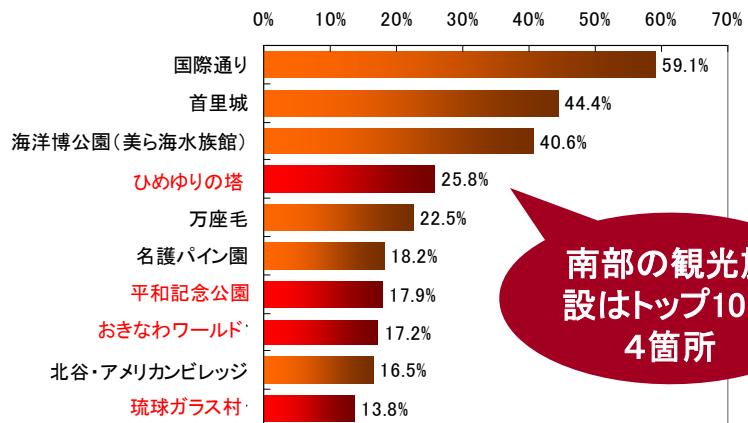
(1) 社会状況の変化[観光]

- ◆沖縄県の観光入込客数の増加に伴い、観光の起点となる那覇空港へのアクセス道路である豊見城道路・糸満道路の重要性が高まる。
- ◆本島南部一周で1日観光というスケジュールが多く、豊見城道路・糸満道路は本島南部全体の観光にとって重要。

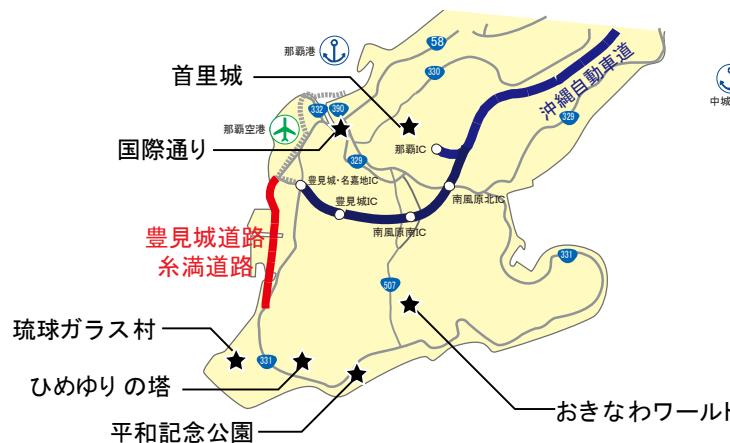
■沖縄県の観光客数と観光収入の推移



■県外客の主な旅行先(上位10箇所)



出典: 沖縄県 平成16年度観光統計実態調査から作成

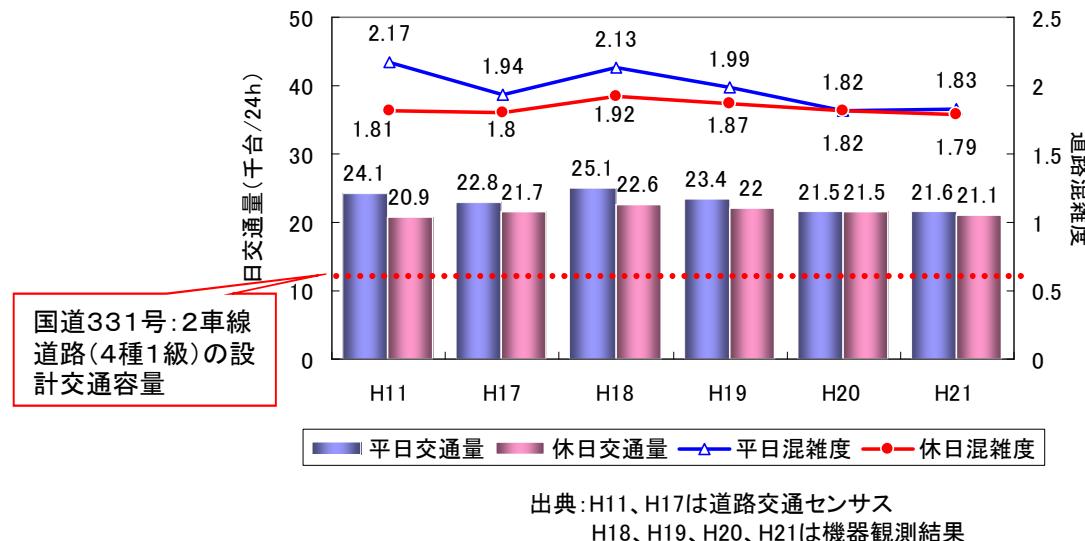


2. 事業の必要性

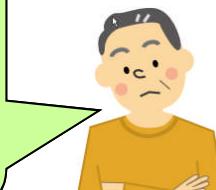
(2) 道路交通状況の変化

- ◆那覇市と県南部を結ぶ国道331号は、交通量が1日2万台を超えており、平日、休日とも道路混雑度は1.75を超えて慢性的に混雑。
- ◆豊見城道路の暫定供用により、多少混雑が緩和しているが、まだまだ渋滞が残る。また、暫定供用中の豊見城道路についても渋滞が発生。

■国道331号(糸満市兼城)の24時間交通量と道路混雑度



豊見城道路の暫定供用により国道331号の混雑緩和に効果を発揮しつつありますが、渋滞が発生する日もあります。現在、「那覇空港」から「道の駅いとまん」まで豊見城道路を使うと、通常20分くらいですが、混雑がひどい時は1時間くらいかかります。



道の駅いとまん事務局



国道331号 豊見城市与根交差点(豊見城市役所付近)



豊見城道路 豊崎交差点北側付近

2. 事業の必要性

(3) 地域の要望・活動

◆豊見城道路・糸満道路に関して、各種団体より平成14年以降、11回の整備促進に関する要請書が出されている。

■要請時期と提出者

時 期	提 出 者	対象道路
1 平成14年5月	○沖縄西海岸道路建設促進期成会 ○沖縄県道路利用者会議 ○道路整備促進期成同盟会沖縄県地方連絡協議会 ○那覇空港自動車道建設促進期成会 ○沖縄国道協会	豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路
2 平成14年5月	○財団法人南部振興会 ○南部市町村会 ○南部東道路整備促進期成会 ○島尻地域道路整備促進期成会	豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路
3 平成15年5月	○財団法人南部振興会 ○南部市町村会 ○南部東道路整備促進期成会	豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路
4 平成15年10月	○豊見城市 豊見城市長	豊見城道路
5 平成18年5月	○沖縄西海岸道路建設促進期成会 ○沖縄ハシゴ道路ネットワーク建設促進期成会 ○沖縄県道路利用者会議 ○道路整備促進期成同盟会沖縄県地方連絡協議会 ○那覇空港自動車道建設促進期成会 ○沖縄国道協会	豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路
6 平成18年5月	○財団法人南部振興会 ○南部市町村会 ○南部東道路整備促進期成会 ○島尻地域振興開発推進協議会	豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路
7 平成19年5月	○沖縄西海岸道路建設促進期成会 ○沖縄ハシゴ道路ネットワーク建設促進期成会 ○沖縄県道路利用者会議 ○道路整備促進期成同盟会沖縄県地方連絡協議会 ○那覇空港自動車道建設促進期成会 ○沖縄国道協会	豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路
8 平成19年5月	○財団法人南部振興会 ○南部市町村会 ○南部東道路整備促進期成会 ○島尻地域振興開発推進協議会	豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路
9 平成20年5月	○南部市町村会 ○財団法人南部振興会 ○島尻地域道路整備促進期成会 ○南部東道路整備促進期成会	豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路
10 平成21年5月	○南部市町村会 ○財団法人南部振興会 ○島尻地域道路整備促進期成会 ○南部東道路整備促進期成会	豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路
11 平成22年5月	○南部市町村会 ○財団法人南部振興会 ○島尻地域道路整備促進期成会 ○南部東道路整備促進期成会	豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路 豊見城道路・糸満道路

■要請内容(H22.5)

沖縄南部地域の安全・安心の
道づくり促進に関する要請書

平成22年5月

(沖縄県)
南 部 市 町 村 会
財 団 法 人 南 部 振 興 会
島 尻 地 域 振 興 開 発 推 進 協 議 会
南 部 東 道 路 整 備 促 進 期 成 会

平成22年5月 日

南 部 市 町 村 会
会 長 城 间 俊 宏

財 团 法 人 南 部 振 興 会
会 長 金 埼 盛 男

島 尻 地 域 振 興 開 発 推 進 協 議 会
会 長 古 谢 景 春

南 部 東 道 路 整 備 促 進 期 成 会
会 長 吉 谢 景 春

沖縄南部地域の安全・安心の道づくり促進に関する要請書

ご承認、沖縄県南部地域の道づくりに御努力いただきおりまことに對し、深く感謝と敬意を表します。

さて、南部地域の安全・安心の道づくりと観光振興等経済活動の活性化を促進するため、その基盤である道路網の早期整備が望まれており、次の事項の実現方について、専門のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

一、沖縄西海岸道路(国道331号豊見城道路・糸満道路)の整備促進について

沖縄本島南部地域と県都那覇市を結ぶ国道331号は、地域住民の生活の安定向上や産業・経済活動を支える上で重要な幹線道路であります。

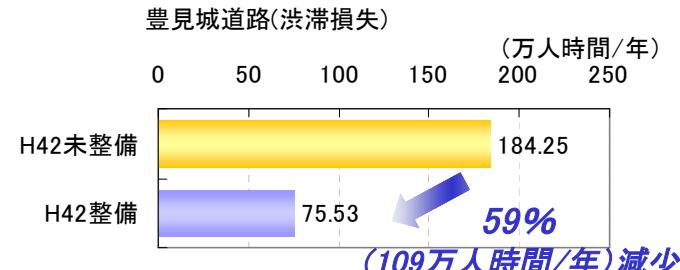
現在、整備が進められている那覇市と豊見城市及び糸満市を結ぶ沖縄西海岸道路豊見城・糸満地区(豊見城道路・糸満道路等)は、平成19年3月、豊見城道路が全線暫定供用開始され、利便性が一段と強化されたところであり、引き続き糸満道路の全線開通に向け整備を促進していただきたい。

3. 事業の投資効果 (1)円滑なモビリティの確保[渋滞損失]

- ◆豊見城道路・糸満道路の整備により、影響の大きい区間の渋滞損失時間が約5割減少。
- ◆並行区間である国道331号の1km当りの渋滞損失時間は6～7割減少。

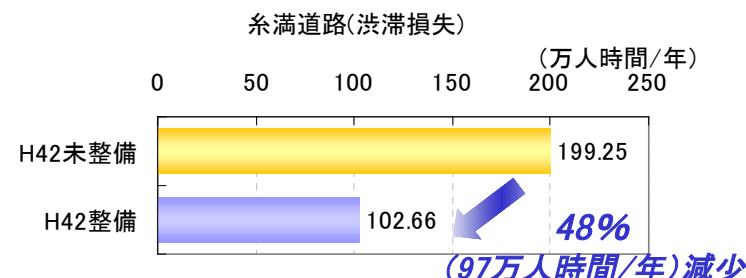
■影響の大きい区間の渋滞損失時間の変化

○豊見城道路整備による渋滞損失時間の変化



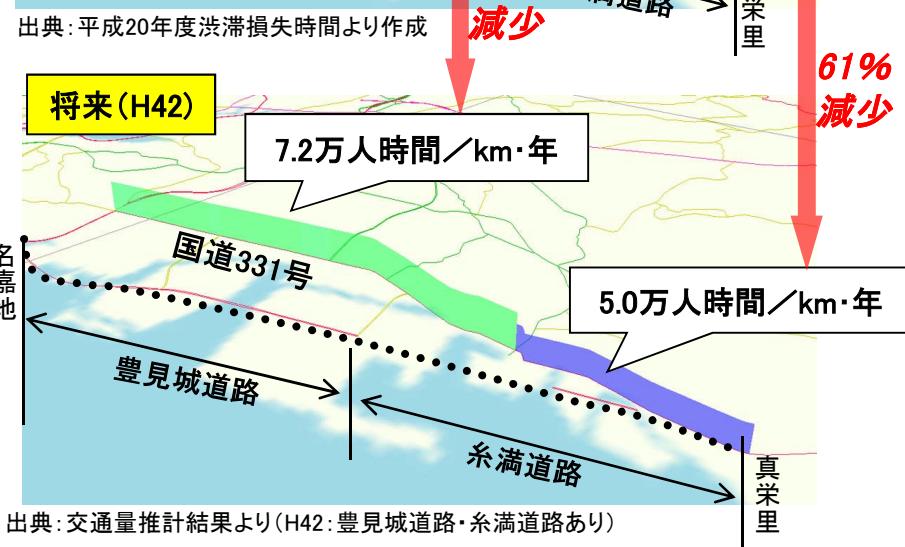
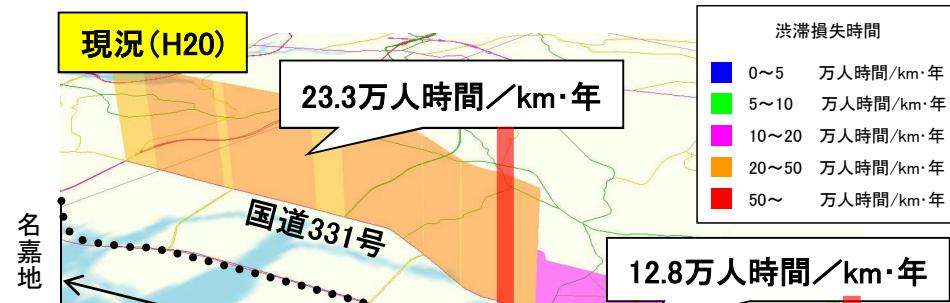
算定対象区間：費用便益対象リンクのうち、当該事業により大きく影響を受ける下記路線のリンクを対象として算出
・国道331号、(主)那覇糸満線、県道249号線

○糸満道路整備による渋滞損失時間の変化



算定対象区間：費用便益対象リンクのうち、当該事業により大きく影響を受ける下記路線のリンクを対象として算出
・国道331号、(主)奥武山米須線、県道250号線

■並行区間の1km当りの渋滞損失時間の変化



3. 事業の投資効果 (1)円滑なモビリティの確保[旅行時間]

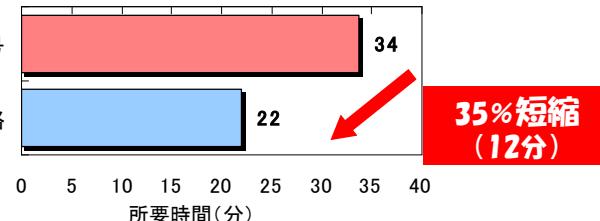
- ◆豊見城道路・糸満道路の整備により、那覇空港から南部の主要観光地である「ひめゆりの塔」への所要時間が約3.5割(12分)、沖縄戦跡国定公園の中核施設である「平和祈念公園」までの所要時間が約3割(12分)短縮。
- ◆渋滞の緩和により定時性が向上し、観光施設の滞在時間やイベント参加の増加が期待される。



■那覇空港～ひめゆりの塔

所要時間の変化(那覇空港～ひめゆりの塔)

A. 国道331号



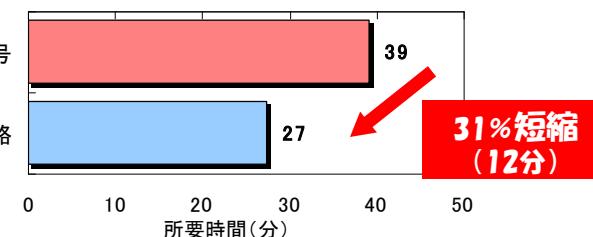
B. 豊見城道路・糸満道路

出典:H17道路交通センサス混雑時旅行速度、豊見城道路、糸満道路は完成供用の規制速度60km/hを用いて試算

■那覇空港～平和祈念公園

所要時間の変化(那覇空港～平和祈念公園)

A. 国道331号



B. 豊見城道路・糸満道路

出典:H17道路交通センサス混雑時旅行速度、豊見城道路、糸満道路は完成供用の規制速度60km/hを用いて試算

3. 事業の投資効果

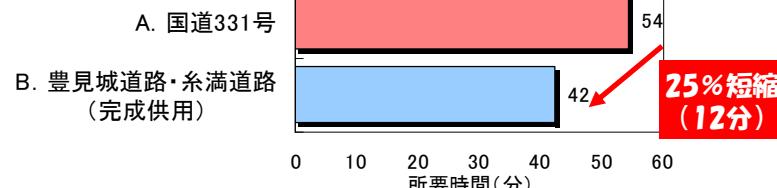
(2) 物流効率化の支援

◆豊見城道路・糸満道路の整備により、特産の小ぎく(H18出荷量全国一：約4千万本)・美らキャロット(にんじん)など、農産物の輸送時間が短縮することにより、運送回数の増加が期待される。

■農産物の輸送(JA糸満集荷場)から中央卸売市場への搬送



所要時間の変化(真栄里交差点～中央卸売市場)



出典:H17道路交通センサス混雑時旅行速度を、臨港道路は「H17那覇港臨港道路構造検討調査」におけるプローブ調査の数値を用いて試算

■JA糸満の主な農産物



美らキャロット

小菊、ゴーヤー、人参、カボチャ、スイートコーンなど

これまで浦添の卸売市場(協同青果)まで、2つのルートを使い分けて、1日5～6回運んでいます。豊見城道路と糸満道路が供用されると、ルートを固定できドライバーへの負担も軽減できます。

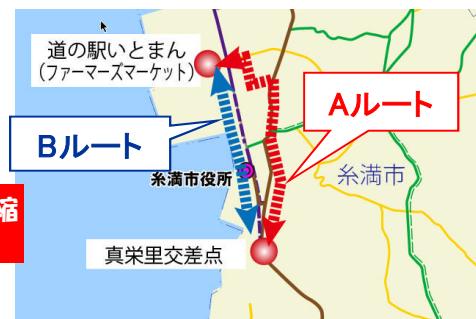
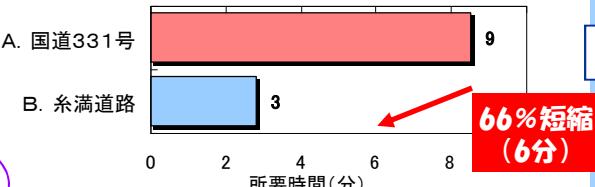


JAおきなわ糸満支店

糸満道路がつながることにより、ファーマーズマーケットに農産物を運んでいる約1100軒の農家にとって、運搬時間の時間短縮、交通安全性の向上につながります。

■各農家のファーマーズマーケットへの搬送

所要時間の変化(真栄里～道の駅いとまん・ファーマーズ)



出典:H17道路交通センサス混雑時旅行速度、豊見城道路、糸満道路は完成供用の規制速度60km/hを用いて試算

3. 事業の投資効果

(3) 個性ある地域の形成

◆豊見城道路・糸満道路は、県南部周遊観光の起点となる那覇空港への重要なアクセス道路であり、南部観光地への速達性・定時性向上による観光活性化に寄与。



道の駅いとまん

豊見城道路・糸満道路が全線つながれば、道の駅の認知も進み、現在の年間来客数、約160万人(買い物客数の延べ人数)から、将来は大幅な増加が見込めます。売上げも現在の年間20億円から、将来は30億円くらいまで増加できると期待しています。



道の駅いとまん事務局

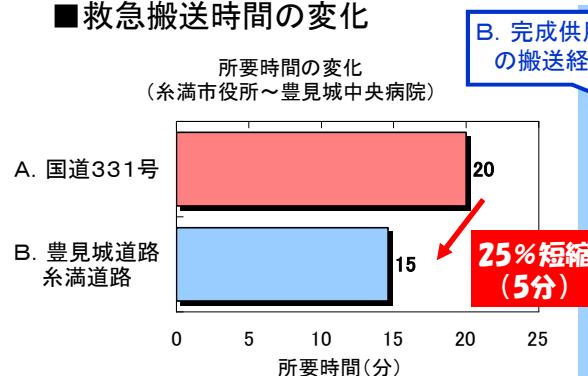


3. 事業の投資効果

(4) 安全で安心できる暮らしの確保

- ◆ 豊見城市・糸満市では海側エリアの人口、観光客とも増加しており、救急活動における豊見城道路・糸満道路の重要性も増している。
- ◆ 豊見城道路・糸満道路の整備により、病院へのスムーズで患者に負担のない救急搬送が可能となる。

■ 救急搬送時間の変化

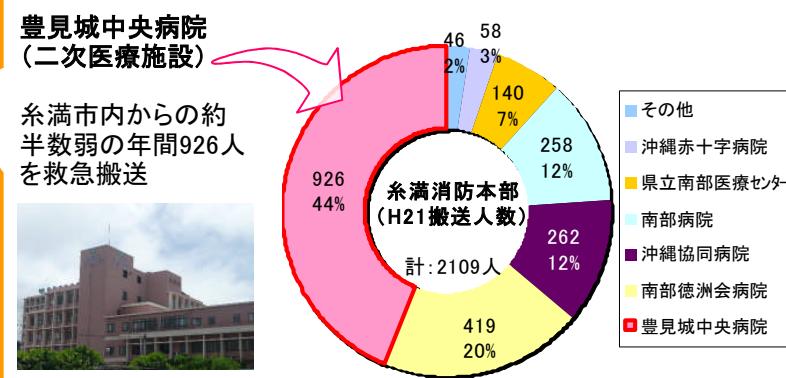


出典:H17道路交通センサス混雑時旅行速度、豊見城道路、糸満道路は完成供用の規制速度60km/hを用いて試算



豊見城中央病院
(二次医療施設)

糸満市内からの約半数弱の年間926人を救急搬送



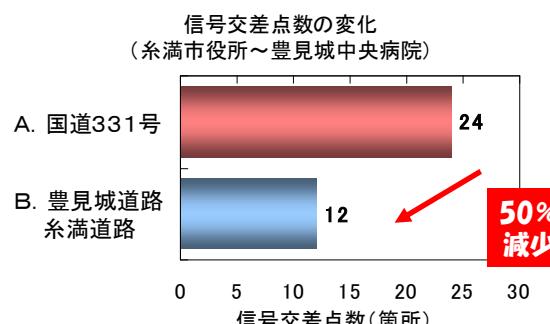
人口増加、救急活動も特に海側が増加しており、救急搬送における糸満道路・豊見城道路の重要性は増していくと考えています。



糸満消防本部

信号交差点を通過する際などスピードの変化があると心臓マッサージ等の治療行為において一定の体勢を保つことが困難になります。救急搬送ルート上の信号交差点が減り、加減速による縦揺れ、カーブによる横揺れが減少すれば、搬送患者への負担が軽減されます。

■ 救急搬送ルートの信号交差点数の変化

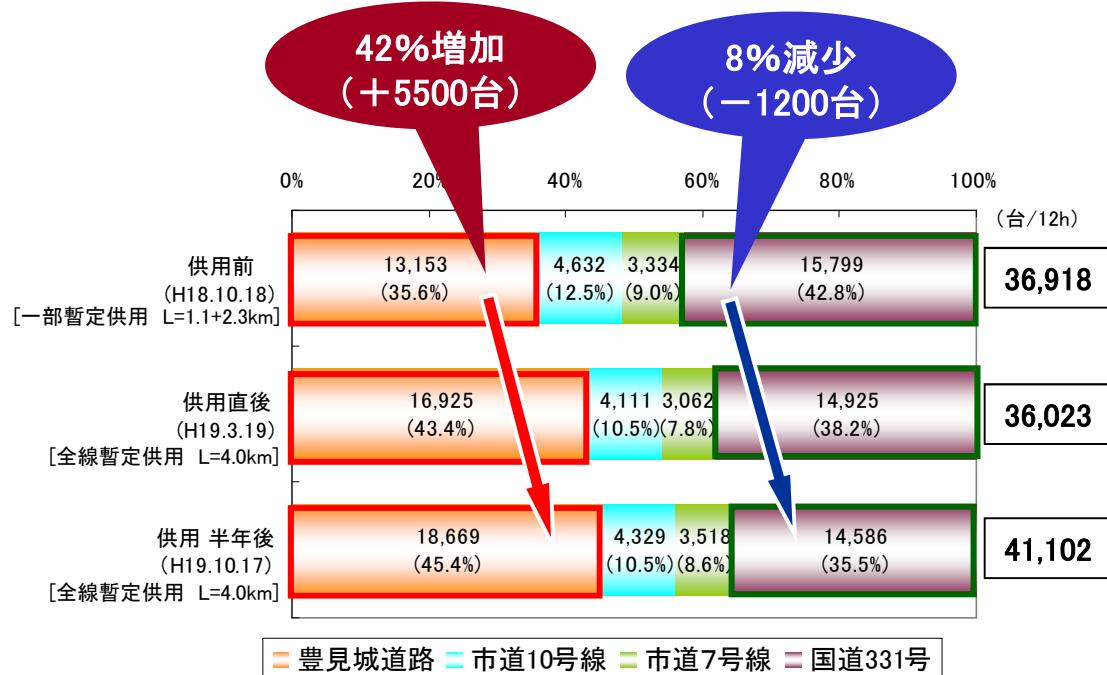


3. 事業の投資効果

(5) 暫定供用の効果

◆豊見城道路の全線暫定供用(H19.3)により、並行路線である国道331号の交通量が8%減少し、豊見城道路は42%増加。より規格の高い道路を使う割合が増加し、既存道路の交通安全に寄与。

■暫定供用前後の交通量の変化(A-A断面)



出典: 平成19年度 豊見城道路交通量調査及び整備効果検討業務報告書



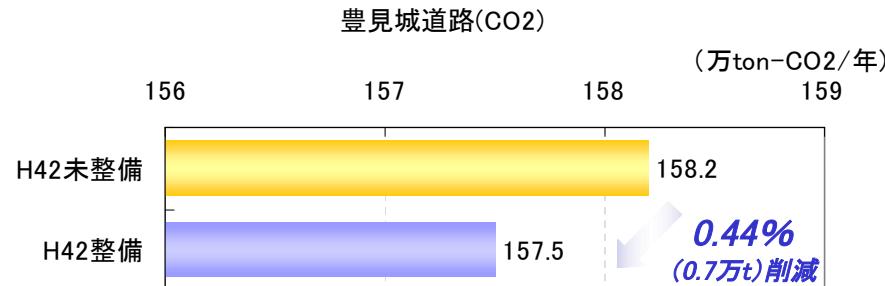
3. 事業の投資効果

(6) 地球環境の保全

◆豊見城道路整備によるCO₂削減量は、沖縄県全体で0.44%(年間0.7万トン)。糸満道路整備は0.19%(年間0.3万トン)。※

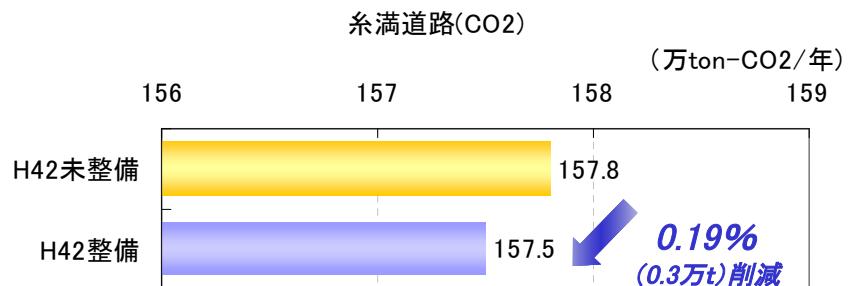
※沖縄県全体、H42ネットワーク時における整備時(with)、未整備時(without)の比較

■豊見城道路整備によるCO₂年間排出量の変化
(沖縄県全体)



出典:交通量推計結果より算定

■糸満道路整備によるCO₂年間排出量の変化
(沖縄県全体)



出典:交通量推計結果より算定



国道331号(糸満市兼城交差点付近)

3. 事業の投資効果

(7) 費用便益分析

費用便益分析

項目	豊見城道路		糸満道路	
	残事業	事業全体	残事業	事業全体
費用(C) ^{※1)}	97億円 ^{※2)}	451億円 ^{※2)}	116億円 ^{※2)}	553億円 ^{※2)}
事業費(億円)	82億円	433億円 (現在の事業費405億円)	104億円	541億円 (現在の事業費505億円)
維持管理費(億円)	14億円	18億円	12億円	12億円
便益額(B) ^{※1)}	184億円 ^{※2)}	1,265億円 ^{※2)}	602億円 ^{※2)}	638億円 ^{※2)}
走行時間短縮便益(億円)	258億円	1,189億円	565億円	600億円
走行経費減少便益(億円)	-49億円	60億円	22億円	23億円
交通事故減少便益(億円)	-26億円	15億円	15億円	16億円
費用便益比(B/C)	1.9	2.8	5.2	1.2

費用便益比の算出条件

$$\text{費用便益比} = \frac{\text{便益【①+②+③】}}{\text{費用【事業費+維持管理費】}}$$

適用マニュアル：「費用便益分析マニュアル」
(平成20年11月：国土交通省道路局 都市・地域整備局)

基準年次：平成22年度

検討年数：供用後50年

事業費：現在価値事業費=単純価値事業費×割戻率×GDPデフレータ

便益：①走行時間短縮便益②走行経費減少便益③交通事故減少便益

・上記金額は、道路整備前後における、①走行時間の価値②走行経費③交通事故損失額の差により算出

・なお、各金額は将来OD(H17センサースペースH42OD表)により推計した交通量を用いて算出

費用及び便益額等については、平成22年度の価値に換算 (現在価値算出のための社会的割引率：4%)

※1)費用・効果の金額は、社会的割引率(4%)、GDPデフレータを(H20確定値)踏まえた供用開始より50年間の総額

※2)便益・費用の合計は表示桁数の関係で一致していない

3. 事業の投資効果

(7) 費用便益分析

その他地域社会が受けける便益等

項目	豊見城道路	糸満道路
円滑なモビリティの確保	渋滞損失時間の削減量 ・ 109万人時間/年(約59%)削減※3 ・ 184.25万人時間/年→75.53万人時間/年 ※4	97万人時間/年(約48%)削減※3 ・ 199.25万人時間/年→102.66万人時間/年 ※4
	旅行時間の短縮 (那覇空港から南部の主要観光地であるひめゆりの塔までの所要時間) ・ 34分→22分(35%、12分短縮)※5	
物流効率化の支援	農産物搬送の効率化 (JA糸満[真栄里交差点]～中央卸売市場の所要時間) ・ 54分→42分(25%、12分短縮)※5	(真栄里交差点～道の駅[ファーマーズマーケット]の所要時間) ・ 9分→3分(56%、5分短縮)※5
個性ある地域の形成	観光の活性化 ・ 南部観光地への速達性・定時性向上による観光活性化に寄与。	
安全で安心できる暮らしの確保	救急搬送活動の改善 (糸満市役所～豊見城中央病院までの搬送時間、信号交差点数) ・ 所要時間: 20分→15分(25%、5分短縮)※5 ・ 信号交差点数: 24箇所→12箇所(50%、12箇所減少)	
暫定供用の効果	並行路線の交通量減少 ・ 並行路線である国道331号の交通量が8%減少し、豊見城道路は42%増加。より規格の高い道路を使う割合が増加し、既存道路の交通安全に寄与。	—
地球環境の保全	CO2排出量の削減量 ・ 0.7万t-CO2/年(約0.4%)削減※3 ・ 158.2万t/年→157.5万t/年(県全体)	0.3万t-CO2/年(約0.2%)削減※3 ・ 157.8万t/年→157.5万t/年(県全体)

※3) H42未整備時(without)、H42整備時(with)の数値の差

※4) 費用便益対象リンクのうち、交通量推計の結果から当該事業により大きく影響を受ける下記路線のリンクを対象として算出

豊見城道路: 国道331号、(主)那覇糸満線、(県)東風平豊見城線 糸満道路: 国道331号、(主)那覇糸満線、(主)奥武山米須線、(県)糸満具志頭線

※5) 現況路線はH17道路交通センサス混雑時旅行速度、豊見城道路・糸満道道路(完成供用後)は設計速度(60km/h)を用いて算出

4. 事業の進捗状況と見込み

◆豊見城道路は、平成元年度に事業化され、平成15年度に一部暫定効用、平成18年度に全線暫定供用。

(平成22年度末までの事業進捗率は75.0% (予定)、平成23年に豊崎交差点の立体化に向けて事業を継続)

◆糸満道路は、平成2年度に事業化され、平成14年度に部分供用。

(平成22年度末までの事業進捗率は74.5% (予定)、平成23年度に全線暫定供用に向けて事業を継続)

■事業の経緯

年次	豊見城道路	糸満道路
平成元年度	事業化	—
平成2年度	—	事業化
平成6年度	地域高規格道路の指定 (沖縄西海岸道路)	
平成10年度	都市計画決定、用地着手	
平成12年度	—	工事着手
平成13年度	工事着手	—
平成14年度	—	部分供用 (L=0.8km)
平成15年度	一部暫定供用 (L=1.1km)	—
平成17年度	部分暫定供用 (L=2.3km)	—
平成18年度	部分暫定供用 (L=0.6km) ※全線暫定供用	—

■事業の進捗率

年次	豊見城道路	糸満道路
全体事業費	405億円	505億円
平成22年度末進捗	304億円	376億円
進捗率	75.0%	74.5%



5. 対応方針

事業の必要性

- ・豊見城市をはじめ本島南部に位置する自治体の人口等の伸びが大きい。
- ・豊見城道路・糸満道路沿道には、豊崎タウン、潮崎タウンをはじめ、アウトレットモールあしひな一等の商業施設、道の駅、新しいビーチ等の立地、開業が進んでいる。
- ・沖縄県の観光入込客数の増加に伴い、観光の起点となる那覇空港へのアクセス道路である豊見城道路・糸満道路の重要性が高まる。
- ・豊見城道路が暫定供用したが国道331号はまだまだ渋滞が残る。暫定供用中の豊見城道路についても渋滞が発生。
- ・豊見城道路・糸満道路に関して、各種団体より平成14年以降、11回の整備促進に関する要請書が出されている。

事業の投資効果

- | | |
|-----------------|---|
| ・円滑なモビリティの確保 | ⇒国道331号等の渋滞損失時間が約5割減少[豊見城道路59% (109万人時間/年)、糸満道路48% (97万人時間/年)] |
| | ⇒主要観光地へのアクセス向上:那覇空港～ひめゆりの塔までの所要時間が35%短縮[34分→22分(-12分)] |
| ・物流効率化の支援 | ⇒農産物搬送の効率化:JA糸満～中央卸売市場の所要時間が25%短縮[54分→42分(-12分)] |
| ・個性ある地域の形成 | ⇒南部観光地への速達性・定時性向上による観光活性化に寄与。 |
| ・安全で安心できる暮らしの確保 | ⇒救急搬送活動の改善:糸満市役所～豊見城中央病院までの所要時間25%短縮[20分→15分(-5分)] |
| ・暫定供用の効果 | ⇒規格の高い道路を使う割合が増加し、交通安全に寄与(国道331号の交通量が8%減少) |
| ・地球環境の保全 | ⇒CO2排出量の削減:沖縄県全体の0.2～0.4%削減[豊見城道路0.4%(-0.7万t)、糸満道路0.2%(-0.3万t)] |
| ・費用便益比(B/C) | = 豊見城道路: 事業全体2.8、残事業1.9
糸満道路 : 事業全体1.2、残事業5.2 |

事業の進捗と見込み

- | | |
|-------|--|
| (進捗) | ・豊見城道路: 平成15年度に西崎地区(L=1.1km)部分暫定供用
平成18年2月に瀬長～豊崎(L=2.3km)部分暫定供用
平成19年3月に豊崎～西崎(L=0.6km)暫定供用し、全線暫定供用 |
| | ・糸満道路 : 平成14年度に潮崎町～真栄里(L=0.8km)部分供用 |
| (見込み) | ・豊見城道路: 平成23年度に豊崎交差点の立体化、糸満道路:平成23年度に全線暫定供用予定
・豊見城道路、糸満道路は完成4車線供用に向けて鋭意事業の進捗を図る。 |

○対応方針(原案):

事業継続